

別中ありがとう

別所中学校学校通信
2023年度 NO.8
11月1日(水)発行

「秋」といえば何色？

本当に暑かった夏から、なかなか涼しくならないと感じていた人もいるかもしれませんが、ここのところ朝夕はブレザーがあってもいいかな、と思うほどの気候になってきました。太陽が沈む時間も早くなり「秋のつるべ落とし」と言われる肌寒くなると同時に急に暗くなる季節です。秋の深まりを日に日に感じます。

「秋の色は？」と問われたら、皆さんはどんな色を思い浮かべるのでしょうか。色づく葉っぱの黄色や紅を想像する人が多いかもしれません。

古代中国に起源を持つといわれている五行思考という哲学では、春は青で「青春」、夏は赤で「赤夏」「朱夏」、秋は白で「白秋」、冬は黒で「墨冬」「玄冬」とされています。秋の色は白であり、静寂を意味するとされているのです。また、白は静寂を意味するだけでなく、秋に実った稲穂が白い白米となる実りの秋を象徴している色だとする説もあります。

文化祭では各学年の取組、各教科や部活動の成果など素晴らしい発表ができました。実りの秋として、それぞれの成長を感じることができた時間でした。しかし、まだまだ2学期を折り返したところです。1年生、2年生は各教科とも丁寧に学習に取り組むこと、3年生は学習と共に自分の進路に向き合うことが求められます。しっかりと目的意識を持ち、実りの秋の1日1日を大切にしていきましょう。



《保護者・地域の皆様へ》

今年は6年生と共に小中一貫9年間の繋がりを実感してもらおうと7年生(中学1年生)8年生(中学2年生)9年生(中学3年生)という呼称を用いて、4学年で文化祭を楽しむことができました。子どもたちは校種、学年を超えて、お互いのよいところに目を向け、いい刺激を受けてくれたようでした。ご来校いただいた保護者、地域の方々からも温かい拍手とともに、生徒たちの頑張りを称えるお言葉をいただきました。ありがとうございました。

こうした小中一貫教育への取組とともに、別所小学校、中学校では、三木市教育委員会と連携して、来年度スタートとなる、別所校区「学校運営協議会」の設置準備を進めています。「学校運営協議会」は、これまで以上に保護者や地域の方々と学校が一体となって子どもたちを育てていこうとする取組です。学校運営の方針や学校評価、地域人材の活用など、多くの意見を基に地域と共にある学校のあり方を協議していきます。また、小学校、中学校に共通した一つの「学校運営協議会」を設置することで、現在取り組んでいる9年間を見通した小中一貫教育もさらに充実することが期待できます。「学校運営協議会」を設置した学校をコミュニティースクールと呼びます。来年度、別所小学校、中学校が、コミュニティースクールとしてスタートし、より充実し発展していくよう、準備を進めてまいります。皆様のご支援をお願いいたします。



学校長 坂田 直裕